

平成 29 年度庄原市キャリアデザイン研修会

平成 29 年 8 月 18 日 庄原市ふれあいセンター

学校を取り巻く社会状況が変化する中で、庄原市教職員は 50 代が半数以上という年齢構成を踏まえ、教職員の人材育成をより一層意図的・計画的に進めていく必要があります。庄原市教育委員会では、平成 24 年度から本研修会を開催し、本年度は、若年層（平成 29 年度末時点で教職経験 3 年目、4 年目、5 年目の教職員）を対象に、実施しました。

目的：年齢層に応じた役割期待を明確にするとともに、教職員自らが目標を掲げ主体的に能力開発に取り組むなどにより、教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校の教育力を高める人材を育成する。

内容：講話「年齢層に応じた役割期待」

庄原市教育委員会 学事係長兼主任管理主事 岡崎 敏朗

パネルディスカッション(これまでの経験を踏まえて、今、感じていること)・グループ協議

講話「年齢層に応じた役割期待」



【受講者から】

- 教職員の年齢構成を踏まえ、自らの置かれる立場を見通しながら、役割を果たしたい。
- 今しっかり学んで、力を付けておかなければいけないと思った。
- 今後、指導者として必要な専門性、社会人として必要なコミュニケーション能力、組織の一員として見通しをもって行動する力が必要だと思った。

パネルディスカッション



【受講者から】

- 校種や職種は違っても、「子供のため、職場のため、保護者や地域のため」といった責任感にあふれていた。
- 自分自身も生徒の 5 年後、自分の 5 年後を考えながら、生活したいと思った。
- 解決できた課題、解決が難しい課題とあるが、それらを共有できる人間関係づくりが必要だと思った。

グループ協議



グループ協議では、「目指す将来の自分の姿を実現するために、これから取り組みたいこと」を中心に協議しました。

- ・常に学ぶ姿勢をもつこと
- ・チームとしての意識をもつこと
- ・自分の職業人生のビジョンをもつこと
- ・コミュニケーション能力を高めること

【受講者から】

- 職種は違っても、組織の一員としての意識を大切にしたい。
- 今までの経験にプラス 1 できるよう、主体的に行動していきたいと感じた。